

サウジアラビア 王国ってどんな国？

名称：サウジアラビア王国（Kingdom of Saudi Arabia）

人口：3427万人（2019年、世界銀行）

面積：215万km²（日本の約5.7倍）

首都：リヤド

公用語：アラビア語

通貨：リヤル

日本との時差：6時間

宗教：イスラム教

サウジアラビアは、イスラム教の発祥地で、聖地「メッカ」があります。イスラム教が国教のため、国民は全員ムスリム（イスラム教徒）です。

日本から西へ約8700km。アフリカ大陸の東にあり、アラビア半島の約80%を占めるのがサウジアラビア王国です。



サウジアラビア王国の気候

サウジアラビアは国土のほとんどが砂漠におおわれています。砂漠気候のため、気温が高く乾燥していることが特徴です。夏場の平均気温は南西部の高地を除いて40度を超え、時には50度を超えることもあります。国土が広いので、紅海沿岸などではダイビングなどのマリンスポーツが楽しめたり、北部地方など冬には雪が降るところもあり、地域によって気候が大きく異なります。



ラマダン

ヒジュラ暦（イスラム暦）の第9番目の月である聖なるラマダン月。新月の出現が確認されたときから始まり、1か月間の断食が行われます。断食はイスラムの五柱※1のひとつで、預言者ムハンマド（彼に平安あれ※2）にコーラン（イスラム教の聖典）の最初の啓示が下されたことに由来します。人々は1か月間の断食を行い、善行と精神的な思索に集中します。家族を大事にする月でもあり、ムスリムは伝統的に家族や友人とより長い時間を過ごします。

ラマダン明けのお祭り「イード・アル・フィトル」は祝日となっており、国中の通りが喜びに満ちた雰囲気溢れ、数多くの行事が行われます。



ラマダンの様子

※1 五柱…ムスリムの生活五つの実践（信仰告白・礼拝・喜捨・断食・巡礼）

※2 預言者について言及する時には、このような言い回しを用いて敬意を示します。

礼拝

1日5回、メッカの方向に向かってお祈りをします。お祈りの時間は役所、銀行、お店などすべてが閉まります。

断食

ヒジュラ暦9月の1か月間、日の出から日の入りまでは水一滴すら飲まない断食を行い、食事は日没後にとります。

巡礼

ヒジュラ暦12月は世界中から約300万人ものムスリムがメッカに集まります。ムスリムにとって、人生に一度巡礼することは是非実行したい行事の一つです。



聖地メッカ